

【合板耐力壁マニュアル】正誤表

P10 ※表 7 大臣認定された軸組構法耐力壁の一覧より「主な施工箇所」(最下段)

誤

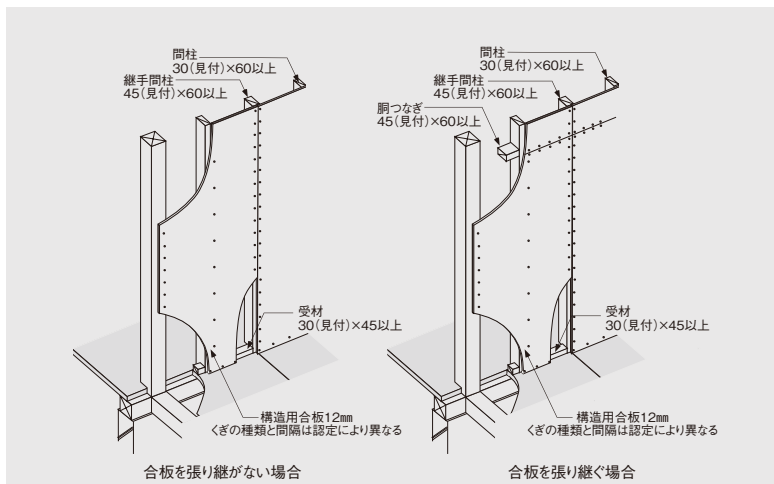
8	受材真壁床勝ち	CN65	100 以下	4.0	外壁又は 間仕切	FRM-0339
9		CN50	100 以下	3.5		FRM-0338

正

8	受材真壁床勝ち	CN65	100 以下	4.0	外壁又は 間仕切壁	FRM-0339
9		CN50	100 以下	3.5		FRM-0338

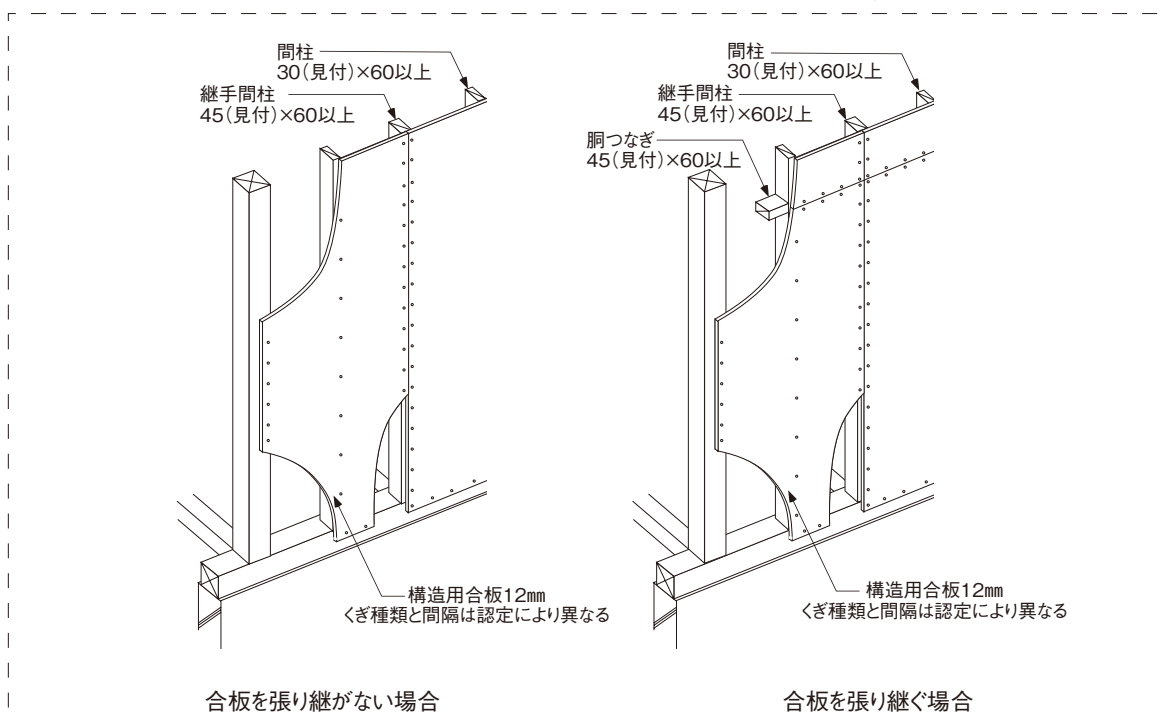
P11 ※図 8 大壁仕様の詳細

誤



正

変更箇所：床下地合板なし



誤

合板を張り継がない場合

合板を張り継ぐ場合

No.	上下の横架材間の内法寸法 (mm)		縁端距離 (mm)
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合	
4	1800 ~ 3075	1960 ~ 3075	15
5	1800 ~ 3075	1960 ~ 3075	12
6	1885 ~ 2925	1960 ~ 3030	12

正

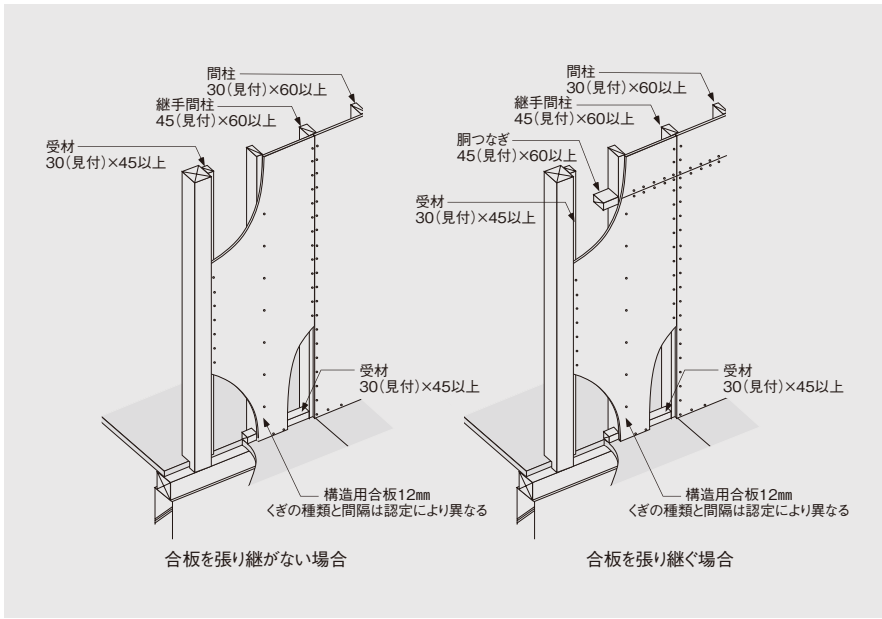
変更箇所：床下地合板あり

合板を張り継がない場合

合板を張り継ぐ場合

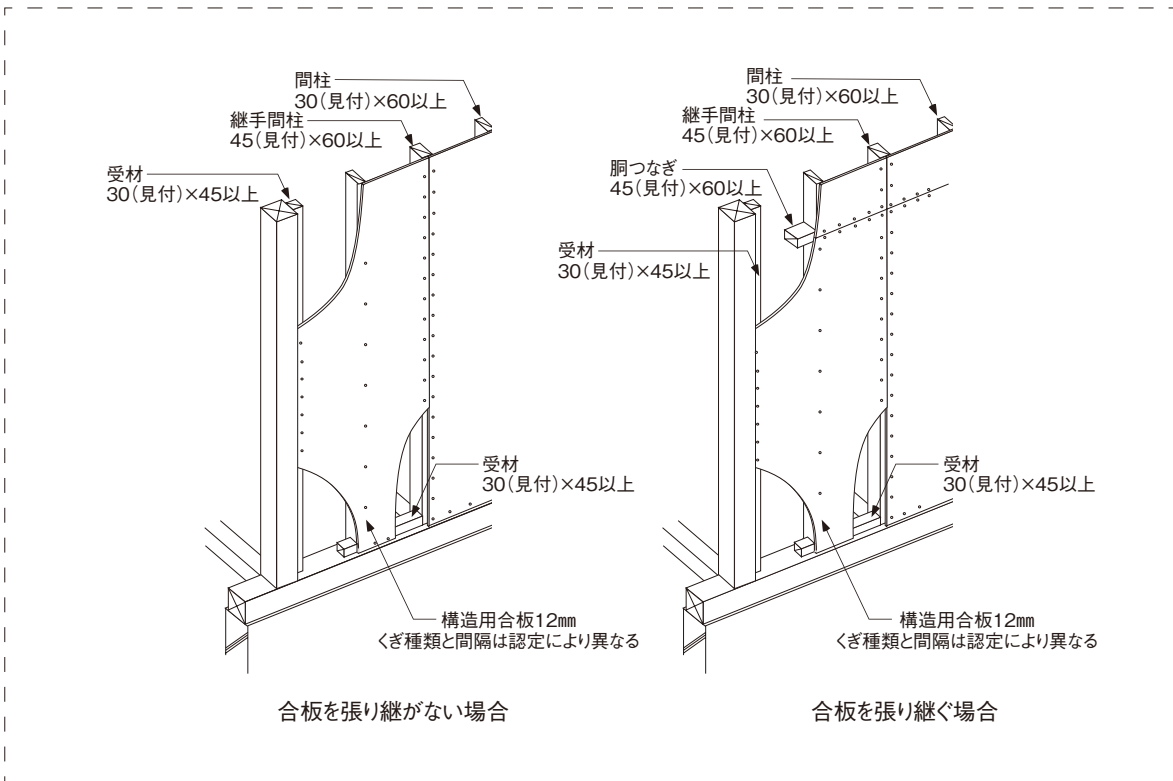
No.	上下の横架材間の内法寸法 (mm)		縁端距離 (mm)
	合板を張り継がない場合	合板を張り継ぐ場合	
4	1800 ~ 3075	1960 ~ 3075	15
5	1885 ~ 2925	1960 ~ 3030	12
6	1800 ~ 3075	1960 ~ 3075	12

誤



正

変更箇所：床下地合板なし

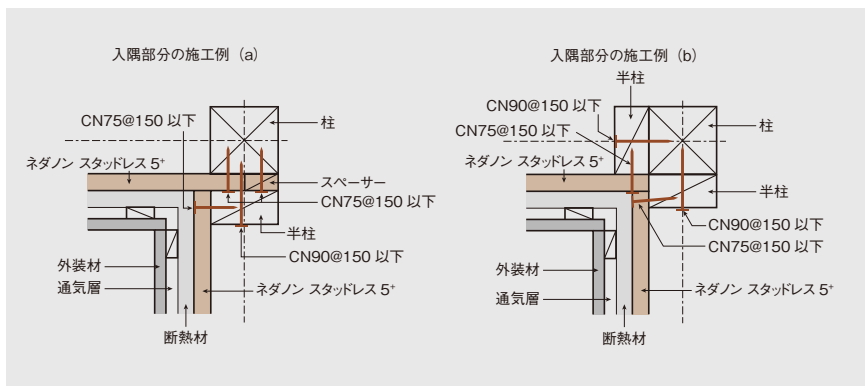


誤 図 11 真壁受材床勝ちタイプの仕様

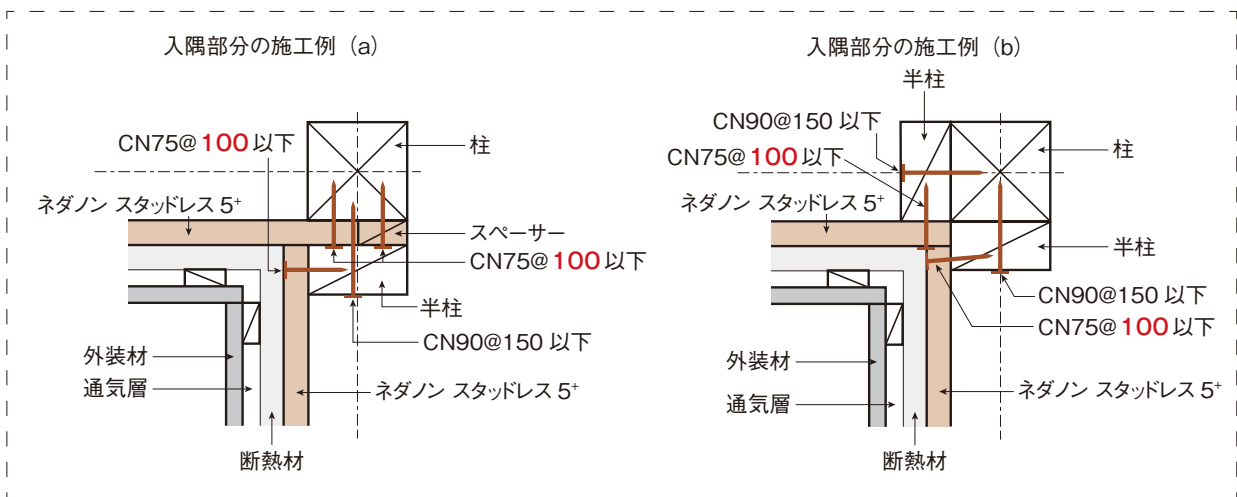


正 図 11 受材真壁床勝ち仕様の詳細

誤



正



P38 ※表19 下から2行目「仕様」の2、3行部分

誤

受材の断面寸法と接合方法	見付け 30 × 奥行 45mm 以上。 くぎ N75 間隔 @200mm 以下、または強度がそれと同等以上の接合方法で柱に留め付ける。
胴つなぎの断面寸法と接合方法	見付け 45 × 奥行 60mm 以上。 各端部ごとに、N75 を 2 本斜め打ち、または強度がそれ以上の接合方法。



正

受材の断面寸法と接合方法	見付け 30 × 奥行 45mm 以上。 くぎ N75 間隔 @200mm 以下、または強度がそれと同等以上の接合方法で 柱・横架材に留め付ける。
胴つなぎの断面寸法と接合方法	見付け 45 × 奥行 60mm 以上。 各端部ごとに、N75 を 2 本斜め打ち、または強度がそれ以上の接合方法。

P40、P57 ※ P40 表20、P57 表26 下から2行目「仕様」の2、3行部分

誤

受材の断面寸法と接合方法	見付け 45 × 奥行 45mm 以上。 くぎ N75 間隔 @200mm 以下、または強度がそれと同等以上の接合方法で柱に留め付ける。
胴つなぎの断面寸法と接合方法	見付け 60 × 奥行 45mm 以上。 各端部ごとに、N75 を 2 本斜め打ち、または強度がそれ以上の接合方法。



正

受材の断面寸法と接合方法	見付け 45 × 奥行 45mm 以上。 くぎ CN90 間隔@ 150mm 以下、または強度がそれと同等以上の接合方法で 柱・横架材に留め付ける。
胴つなぎの断面寸法と接合方法	見付け 60 × 奥行 45mm 以上。 各端部ごとに、N75 を 2 本斜め打ち、または強度がそれ以上の接合方法。

P60 ※ 4 の後段の文書

誤

4. 受材を柱、横架材、床下地に留め付ける。受材の断面寸法は 45 × 45mm 以上とする。受材の留め付けは、くぎ N75@200mm 以下とする。



正

4. 受材を柱、横架材、床下地に留め付ける。受材の断面寸法は 45 × 45mm 以上とする。受材の留め付けは、くぎ **CN90@150mm** 以下とする。

P61 ※ 5 の後段の文書

誤

5. 受材を柱、横架材に留め付ける。受材の断面寸法は 45 × 45mm 以上とする。受材の留め付けは、くぎ N75@200mm 以下とする。



正

5. 受材を柱、横架材に留め付ける。受材の断面寸法は 45 × 45mm 以上とする。受材の留め付けは、くぎ **CN90@150mm** 以下とする。